



宝城中学校だより

令和7(2025)年5月23日

第23号

校長 小田 哲也

学校教育目標：「集団の力を活かして、よりよい社会の創り手として「自走」できる生徒の育成」

Ⅰ. 体育大会「心が一つになりました」

5月18日、「一心一意 ～この一瞬を仲間と共に～」をスローガンに宝城中学校の第76回体育大会が行われました。

前日の雨など、天気予報では予定どおりの実施が難しいかもしれないと心配しておりましたが、多くの来賓の皆様、保護者の皆様に見守られる中、生徒の皆さんは精一杯の力を出して、体育大会を大いに盛り上げ、最高の体育大会をつくりあげてくれたと思っています。

生徒の皆さんに全体練習が始まる時に、「一生懸命を笑わないでください。」というお願いをしていました。これは「一生懸命」を否定しない雰囲気をつくることで、1人ひとりが「全力」を出し切り、お互いの頑張りを見ることで、お互いを認め合うことにつながると思ったことからのお願いでした。

私は、学校や社会の中で、自分の力を発揮するためには周りの雰囲気が大切だと考えています。学級や学年、学校全体の雰囲気を「お互いが力を発揮できる」ように、これからの生活の中でも雰囲気作りをして欲しいと考えています。

<体育大会の様子>



2. 味坂ポピー祭りが行われました。

5月5日（日）と5月6日（土）の2日間で、校区の地域のお祭りである味坂ポピー祭りが行われました。本年度も、PTA役員の皆様、なじみ会の皆様、ご協力いただける保護者の皆様にお力添えいただき宝城中学校PTAとして参加させていただきました。（2日目は雨の為、出店中止）



本年度は、ポピー祭りの実行委員会でポピーの見頃が早まっているという判断から、例年より早くゴールデンウィークの終わり2日間で開催が決定しました。PTA会員の皆様（保護者）の参加が厳しくなることが予想されましたが、たくさんの保護者ボランティアの皆さんにご協力いただきました。

また生徒のみなさんにも、地域のボランティアに参加する機会と位置づけて、昨年同様にボランティアを募ったところ、たくさんの参加がありました。ボランティアの内容は、出店している店の販売等のお手伝いでしたが、自らの意志で参加していることから、生き生きと活動していました。責任感をもって行動しており、充実した経験につながったようです。地域の皆さんも、大変喜んでおられ、具体的に地域へ貢献すること、人との交流の仕方など学ぶことも多かったと思います。素敵な体験が出来てよかったなあと、感じたところでした。

<お手伝いの様子>



※他人（友だち）と一緒に何かを成すことは楽しい。それが他人（ひと）のためになること（善行）ならもっと楽しい。そのことに気づく素晴らしい機会となりました。